

令和2年度事業報告

(自令和2年4月1日、至令和3年3月31日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、令和2年度を通しての措置委託での入居者数は、平均で月当たり5.5人であった。年度内の新たな措置委託による入居者は4名であり、実質8名に対して必要な支援を行った。措置委託による入居以外では、私的契約で1名、社会的養護自立支援事業により1名、委託一時保護が3名と、計5名が利用した。トータルで利用者の実数は13名であった。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになってきている。彼らは不適切な養育環境に長くありながら社会的養護の網から零れ落ち、重篤な虐待等家族関係の不調をベースに犯罪に巻き込まれたり精神疾患を有していたりしている。目的意識のないまま入居してくる子が増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。

一方で145名を超える退所者へのアフターケアには多大なエネルギーを費やさざるを得ない状況があり、実際には43名のOBOGと延べ465回のやりとり(来所対応122回、訪問支援38回、電話相談178回、メール相談70回、手紙13回、関係機関とのやりとり44回)があった。

令和元年12月に開設した「ママと赤ちゃん家」では、子育てに苦しむOG3名に対して預かり訪問支援を適時行った。

ファミリーホーム「はなの家」は、令和2年度を通しての平均入居者数は月当たり5.2人であった。年度内に1名が退所(高卒就職)、2名が入所(他施設からの措置変更)した。昨年度高校を卒業し大学へ進学した2名(1名は埼玉の大学)は、コロナ禍でオンライン授業ということもありホームで生活を続けた。埼玉の大学に進学した者については、3月に措置を継続いたまま大学近辺に転居した。また、宇都宮市のショートステイ事業や児相の一時委託保護で計2名の子どもを預かった。「はなの家」ホーム長は日本ファミリーホーム協議会関東甲信越ブロック代表理事として、オンラインでの理事会等への参加およびブロック研修等を企画実施した。

宇都宮市からの委託事業(要支援児童健全育成事業)の「月の家」では、コロナ禍で小中学校が休校となった3月1日から5月31日までは11~16時半の利用時間とし必要な支援を行った。子ども達の状態も、障害や被虐待、不登校と様々な問題を抱え、どの家庭も社会的養護を必要とする子ども達ばかりであった。利用者の実数は18名で、一人当たり週2回の利用とし1回当たり約7名の利用があった。中学3年生の1名については保護者と一緒に高校の説明会や三者懇談にも同席した。また高校に進学しても「月の家」にボランティアにやってくる子も見られた。「月の家」は、宇都宮市の区画整理事業により移転を余儀なくされ7月に転居した。

栃木県より2017年度から受託している「子どもの居場所担い手育成事業」であるが、県内の子どもの居場所のスタッフの育成・支援を目的とした研修事業を中心に企画・実施した。基礎研修を2回実施し計80名が参加した。応用研修を2回実施し計72名が参加した。また子どもの居場所連絡協議会の事務局として連絡協議会を2回開催した。さらに普及啓発のための調査報告書を400部発行した。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりを予定していたが、コロナ感染拡大防止のためいずれも中止した。

虐待防止ネットワークとの共催で「第11回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」をパーティホールにて開催した。「虐待を受けた当事者が語る」をテーマにパネルディスカッションを行い150名の参加者があった。

広報活動として会員向けに会報を2回発行した。

2 事業に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 青少年の自立に関する相談・援助事業	とちぎユースアフターケア事業協同組合の傘下で活動	年4回	とちぎユースアフターケア事業協同組合	職員1名	社会的養護の対象者	0
2. 自立援助ホームの運営	自立援助ホーム「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員4名 非常勤1名	社会的養護の対象者	30,446
3. ファミリーホームの運営	ファミリーホーム「はなの家」の運営 (小規模居住型 児童養育事業)	通年	はなの家	職員2名 非常勤2名	社会的養護の対象者	24,647
4. 居場所作り事業	要支援児童健全育成事業「月の家」の運営	通年～	月の家	職員1名 非常勤2名 アルバイト9名 ボランティア7名	社会的養護の対象者	16,646
	子どもの居場所担い手育成事業	通年～	月の家 栃木県庁	非常勤2名	居場所の担い手を育成・支援	682
5. 機関誌・会報の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員1名	会員及び支援者 1100名	235
6. 会員拡大のための事業	中央地区研修会	5月26日	済生会宇都宮病院(みやのわホール)	職員3名 非常勤1名 ボランティア数名	県民参加者 100名	0
	②「子ども虐待をなくそう県民の集い」	11月17日	済生会宇都宮病院(みやのわホール)	職員3名 非常勤1名 ボランティア数十名	県民参加者 200名	0

(2) その他の事業 (収益事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	事業費の 金額 (千円)
バザー	第22回星の家まつり	10月20日	道の駅 うつのみや ろまんちっ く村	職員7名 ボランティア 130名	385
チャリティー コンサート	第21回青少年の自立を 支える会コンサート	2月24日	宇都宮市文化 会館大ホール	職員7名 ボランティア 69名	1,146